

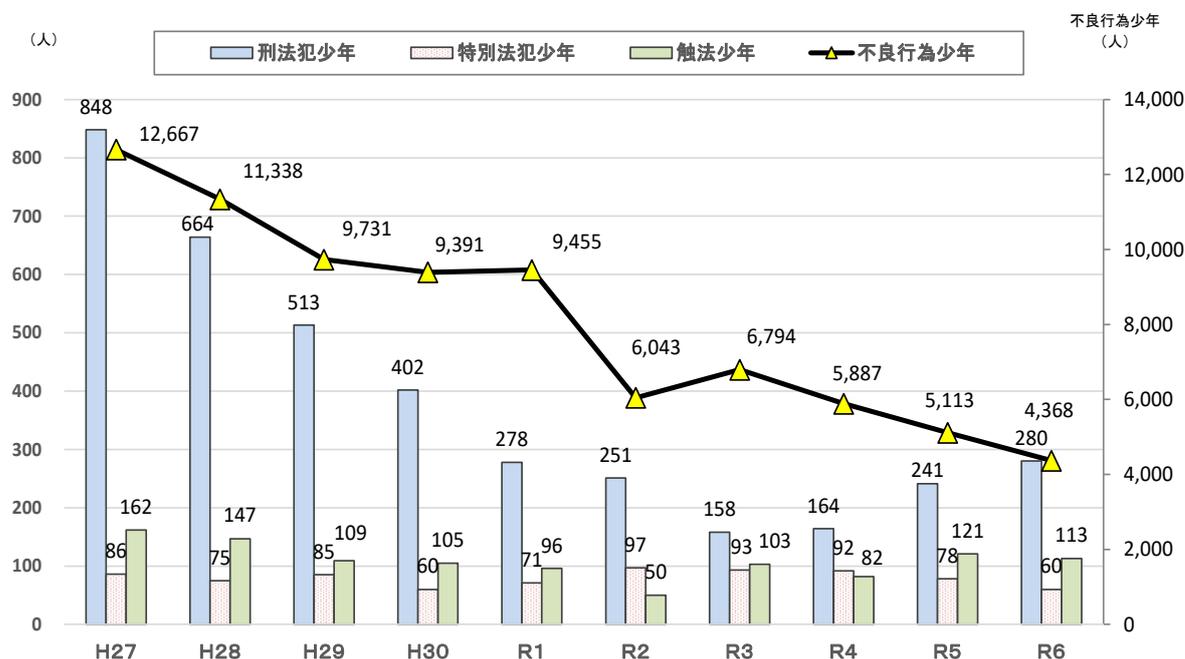
# 少年非行の概況 (令和6年中)



茨城県警察本部  
人身安全少年課

## 1 少年非行の概況

### (1) 少年非行の情勢

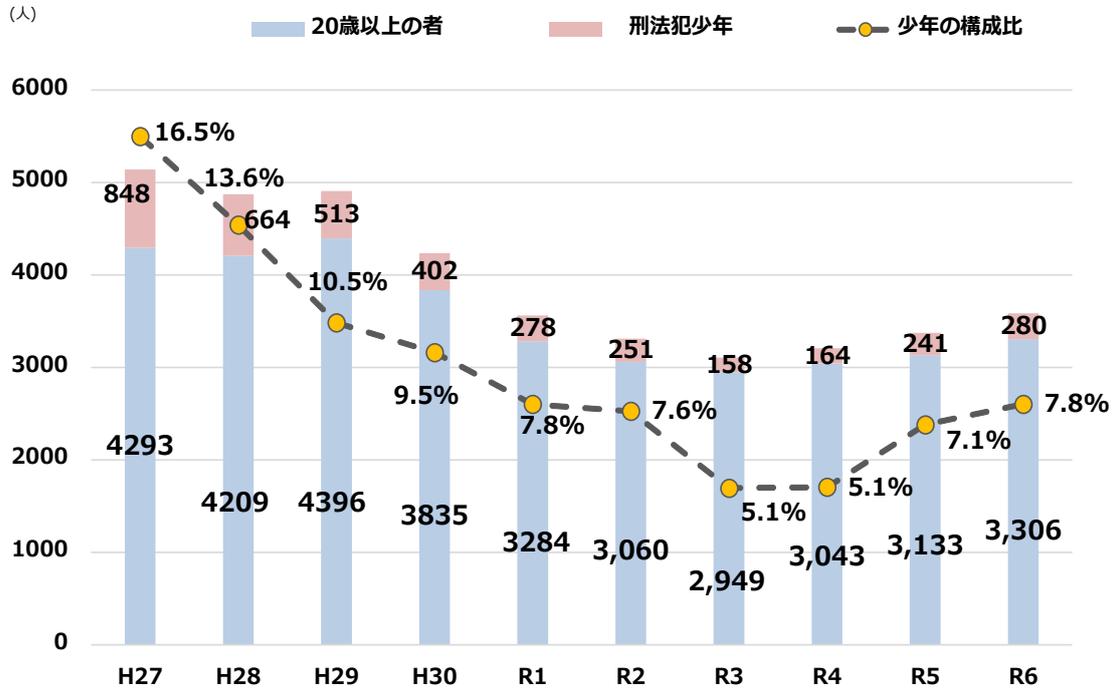


- ・刑法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、刑法犯で検挙された少年
- ・特別法犯少年…犯罪行為をした14歳以上20歳未満の者のうち、特別法犯で検挙された少年
- ・触法少年…刑罰法令に触れる行為をした14歳未満の少年
- ・不良行為少年…深夜はいかい、喫煙、飲酒、粗暴行為等で補導された少年

- 刑法犯少年は減少傾向にありましたが、令和4年からは増加に転じ、令和6年は前年と比べて39人増加しました。
- 特別法犯少年は減少傾向にあり、触法少年は増減を繰り返しながら推移しています。
- 不良行為少年は減少しており、令和6年中は前年と比べて745人減少しました。

## (2) 刑法犯少年

### ア 刑法犯総検挙人員に占める刑法犯少年の割合（構成比）



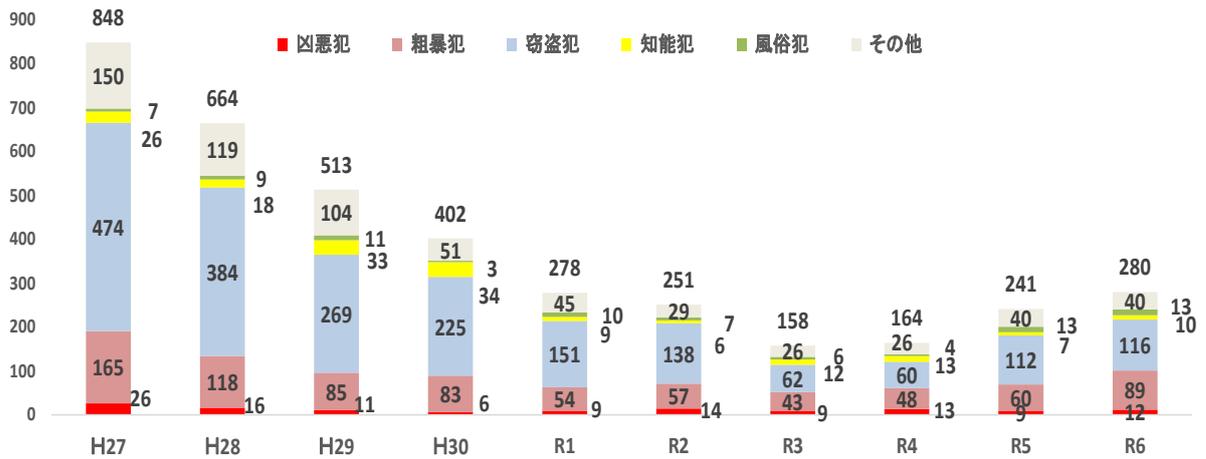
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	増減数	増減率
	総検挙人員	5,141	4,873	4,909	4,237	3,562	3,311	3,107	3,207	3,374	3,584	210
20歳以上の者	4,293	4,209	4,396	3,835	3,284	3,060	2,949	3,043	3,133	3,304	171	5.5%
刑法犯少年	848	664	513	402	278	251	158	164	241	280	39	16.2%
構成比	16.5%	13.6%	10.5%	9.5%	7.8%	7.6%	5.1%	5.1%	7.1%	7.8%	0.7P	
20歳以上の者の人口	2,412,268	2,406,074	2,401,376	2,396,035	2,395,747	2,390,775	2,386,731	2,393,183	2,390,799	2,379,614	-11,185	-0.5%
人口比	1.8	1.7	1.8	1.6	1.4	1.3	1.2	1.3	1.3	1.4	0.1	
少年人口	170,269	169,764	168,631	165,797	165,431	161,005	157,520	154,960	153,658	149,842	-3,816	-2.5%
人口比	5.0	3.9	3.0	2.4	1.7	1.6	1.0	1.1	1.6	1.9	0.3	

注1：表中の少年人口は、茨城県政策企画部統計課の推計人口（14～19歳）（各年1月1日時点の人口を使用）

注2：人口比は、同年齢層人口1,000人当たりにおける検挙人員の割合。

令和6年中、刑法犯総検挙人員に占める少年の割合（構成比）は7.8%で、前年と比べて0.7ポイント増加しました。

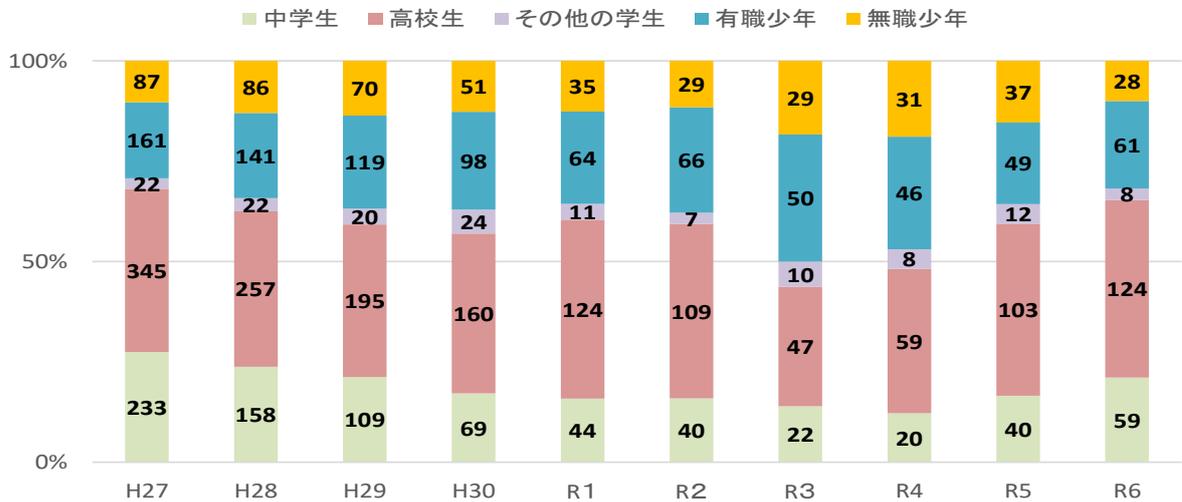
## イ 罪種別検挙状況



- ・凶悪犯…殺人、強盗、不同意性交等、放火等
- ・粗暴犯…傷害、暴行、恐喝、脅迫等
- ・窃盗犯…万引き、自転車盗、侵入窃盗等
- ・知能犯…ニセ電話詐欺、横領等
- ・風俗犯…公然わいせつ、賭博等
- ・その他…占有離脱物横領、公務執行妨害等

罪種別では、前年と比べて粗暴犯が29人、窃盗犯が4人、凶悪犯、知能犯が3人増加しました。

## ウ 学職別検挙状況

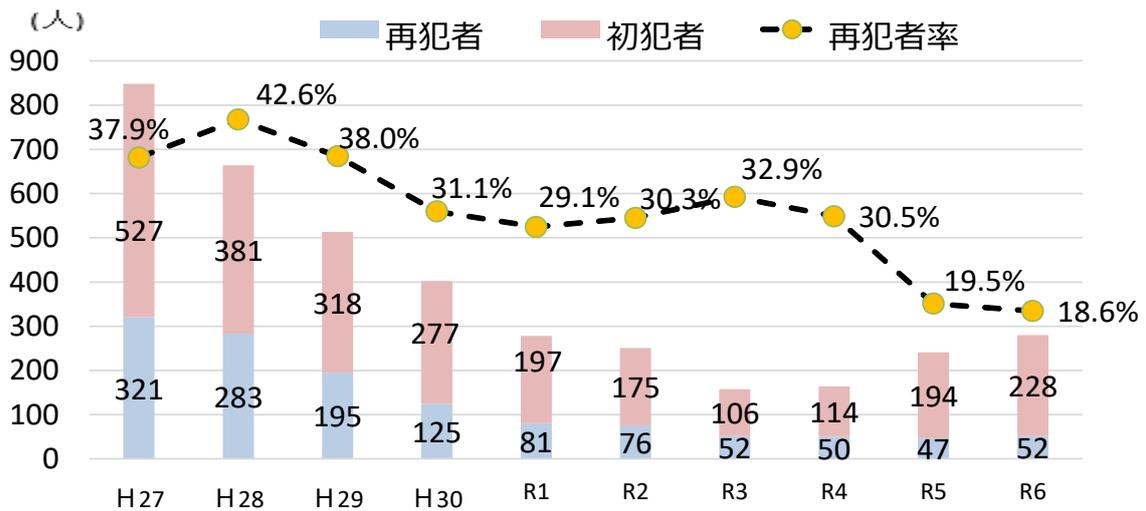


注:「その他の学生」とは、大学生及び専修学校生等

注2:グラフラベルは検挙人数を表示

学職別では、高校生が124人と最も多く、全体の44.3%を占め、次いで有職少年が61人と全体の21.8%を占めました。

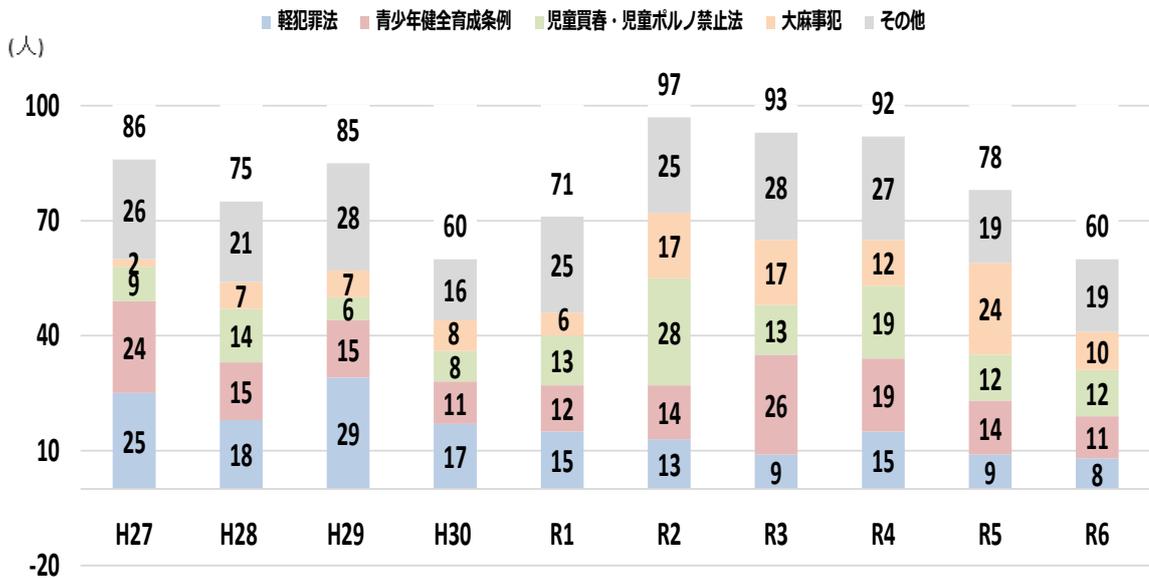
## エ 再犯者率



再犯者の割合は（再犯者率）18.6%で、前年に比べて0.9ポイント減少しました。

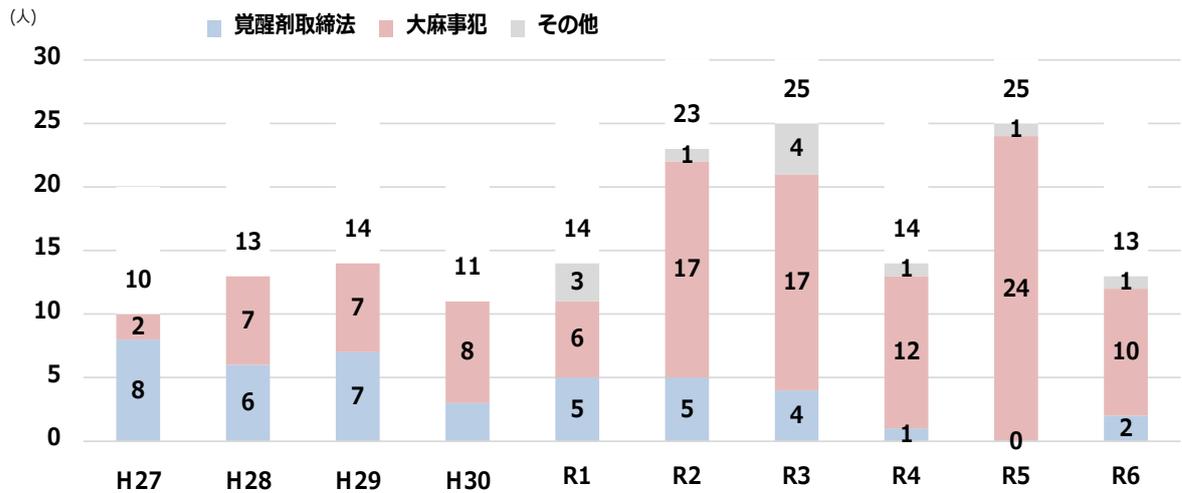
## (3) 特別法犯少年

### ア 法令別検挙状況



法令別では、児童買春・児童ポルノ禁止法での検挙が12人で最も多く、次いで青少年健全育成条例の11件、大麻事犯の10人でした。

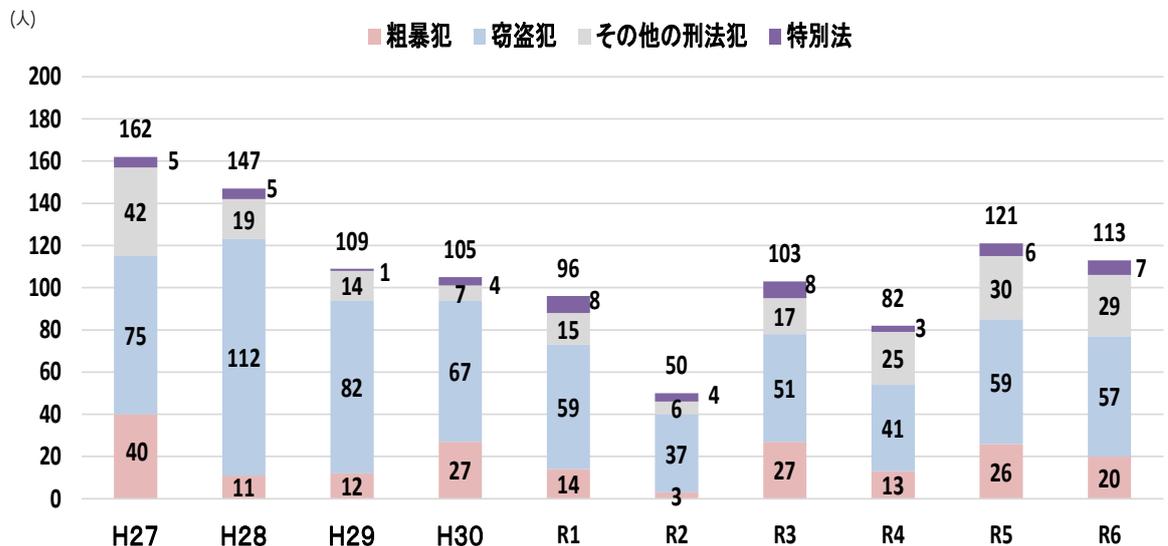
## イ 薬物事犯



※ その他…麻薬特例法、麻薬取締法

薬物事犯で検挙された少年は13人で、前年と比べて12人（-48.0%）減少しました。検挙人員13人のうち、大麻事犯で10名が検挙されています。

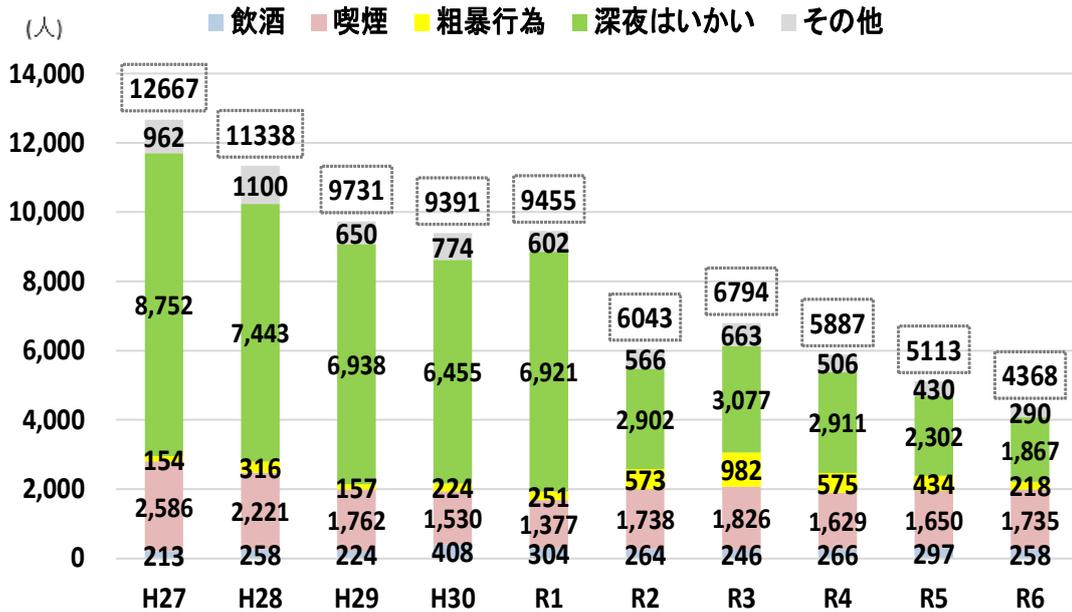
## (4) 触法少年



※その他の刑法犯…凶悪犯、知能犯、風俗犯、刑法犯少年その他(器物損壊等)

触法少年の補導人員は113人で、前年と比べて8人（-6.6%）減少しました。補導人数のうち、窃盗犯が全体の約半数を占めました。

## (5) 不良行為少年

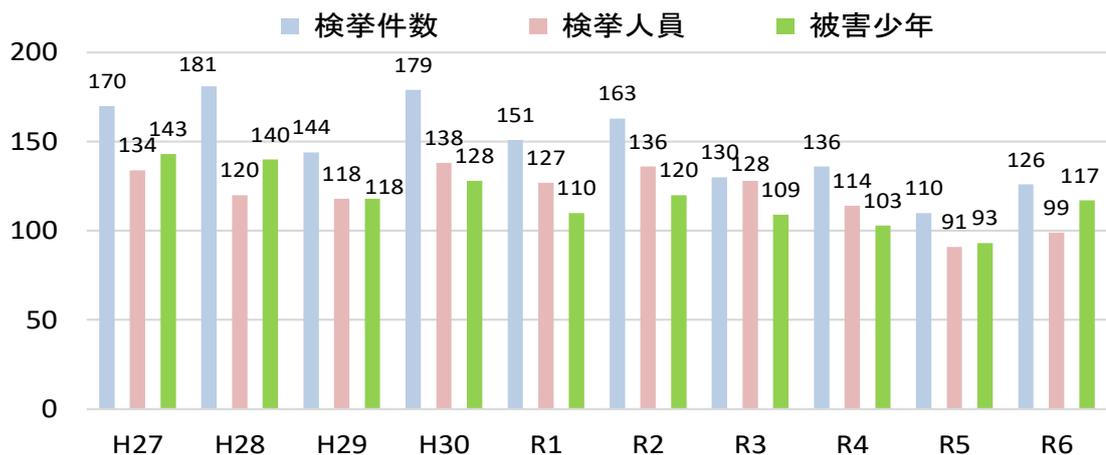


※ その他…家出、怠学等の不良行為

不良行為少年総数は4,368人で、前年に比べて745人（-14.6%）減少しました。  
行為種別では、深夜はいかいが1,867人と最も多く、次いで、喫煙が1,735人で、この2行為が全体の約8割を占めました。

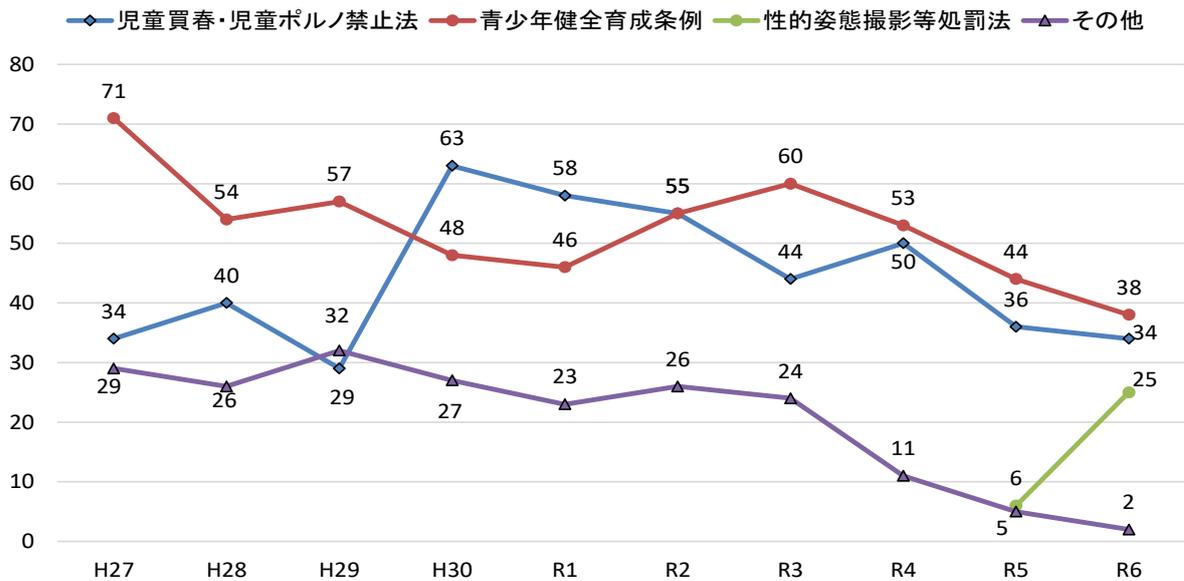
## 2 福祉犯（少年の福祉を害する犯罪）

### (1) 検挙件数・検挙人員・被害少年



福祉犯の検挙件数・検挙人員・被害少年は、前年と比べていずれも増加しました。

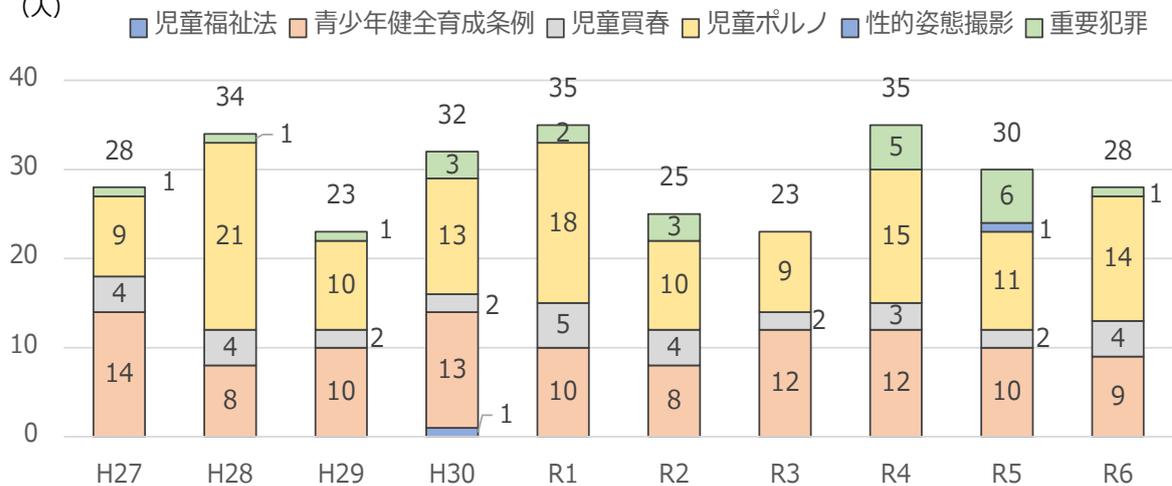
## (2) 法令別福祉犯検挙人員推移



法令別の福祉犯検挙人員は、青少年健全育成条例が最も多く、次いで、児童買春・児童ポルノ禁止法でした。

## (3) SNSに起因する事犯の被害状況

(人)



- ・ SNSとは、本統計では、通信ゲームを含み、届出のある出会い系サイトを除いたものをいう。
- ・ SNSに起因する事犯とは、SNSを通じて面識のない被疑者と被害児童が知り合い、交際や知人関係等に発展する前に被害にあった事犯をいう。
- ・ 重要犯罪等とは、殺人、強盗、放火、不同意性交等、略取誘拐、人身売買、不同意わいせつ(旧強制わいせつ)、逮捕監禁をいう。

SNSに起因する事犯の被害少年は28人で、前年に比べ2人(-6.6%)減少しました。